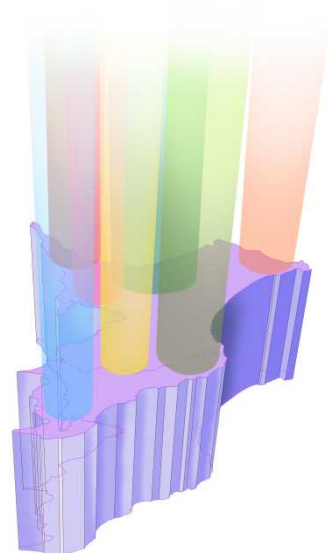




# 県立学校改革推進プラン

## 第4次実施プログラム



平成30年3月  
千葉県教育委員会

# 目 次

第4次実施プログラムについて	1
----------------	---

I 魅力ある県立学校づくりの推進	2
------------------	---

1 普通科及び普通系専門学科・コース	2
(1) 医療コースの設置	
(2) 保育基礎コースの設置	
2 職業系専門学科・コース	4
(1) ものづくりコースの設置	
(2) 工業基礎コースの設置	
(3) 福祉コースの設置	

II 県立学校の適正規模・適正配置	7
-------------------	---

## 【全日制高校】

1 全日制高校の配置（統合）	7
----------------	---

## 【定時制高校・通信制高校】

1 定時制高校の配置（統合・学科改編）	9
2 定時制高校の配置（学科の再構成）	10
(1) 工業に関する学科の再構成	
(2) 商業に関する学科の再構成	
3 定時制高校の配置（三部制定時制高校の設置）	12
4 通信制高校の配置（通信制協力校）	13

III 県立学校改革推進プランの進捗状況	14
----------------------	----

IV 今後の魅力ある高等学校づくりに向けて	16
-----------------------	----

## 第4次実施プログラムについて

県教育委員会では、平成 24 年度以降の県立学校改革を進めるため、平成 24 年 3 月に新たな計画となる「県立学校改革推進プラン」を策定しました。

本プランは、平成 24 年度を初年度として、10 年後の平成 33 年度（2021 年度）を目標年次とし、実施に当たっては、平成 24 年度からの 5 年間（前期）と、平成 29 年度からの 5 年間（後期）に分けて推進することとしておりますが、策定から 5 年が経過し、教育を取り巻く状況が変化していることから、プランの内容を見直し、一部改訂を行いました。

プランの推進に当たっては、具体計画である実施プログラムに基づくことを基本としており、県立高校を取り巻く状況や課題等を踏まえ、これまで 3 回にわたり実施プログラムを策定し、雇用状況・社会構造の変化への対応や生徒減少が著しい地域への対応など、高校改革に取り組んでまいりました。このたび、一部改訂した内容を含めたプランに基づき、今後実施すべき高校改革について、「第 4 次実施プログラム」として取りまとめました。

「第 4 次実施プログラム」では、全日制高校に関する再編とともに、従来からの働きながら学ぶ勤労青年のための教育機関としての役割だけでなく、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様なニーズに対応する役割が増している定時制高校についても再編を実施し、より一層の充実を図ることとしました。

平成 33 年度（2021 年度）を目標年次とした「県立学校改革推進プラン」に基づく具体計画は、この「第 4 次実施プログラム」が最終プログラムとなりますが、継続的な高校改革を推進するため、一部のプログラムの実施年度は平成 34 年度（2022 年度）とします。今後も、引き続き、社会の変化に対応し、活力があり、生徒それぞれの豊かな学びを支え、地域のニーズにこたえる、魅力ある高等学校づくりを目指してまいります。

# I 魅力ある県立学校づくりの推進

## 1 普通科及び普通系専門学科・コース

### (1) 医療コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
成 田 北	3 2 年度 (2020 年度)	普 通 科	・医療コースを設置

#### 【再編の内容】

- ・近隣に位置する医療施設等との連携により、幅広い医療分野についての体験的な学習を通して、看護師や理学療法士等になる意欲を醸成し、現在の医療体制に対応する人材の育成を図るため、成田北高校に医療コースを設置します。

#### 【教育内容等】

- ・医療従事者など外部講師による講演会や出前授業を通して、医療への興味・関心を高めます。
- ・医療体験実習や大学における講義の受講等を通して、医療従事者になるための心構えを育むとともに、医療現場の実情や様々な職種についての理解を深めます。

## (2) 保育基礎コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
四街道北	32年度 (2020年度)	普通科	・保育基礎コースを設置

### 【再編の内容】

- ・小学校入学前までの乳幼児に対する保育や幼児教育に興味・関心を持ち、保育士や幼稚園教諭を目指す生徒が、その基礎的な素養を身に付けるとともに、夢や意欲、職業意識等を育むため、**四街道北高校に保育基礎コースを設置**します。

### 【教育内容等】

- ・学校設定教科・科目を新たに設け、保育・幼児教育の制度や学習内容、子どもの発達などについて学ぶとともに、近隣の関係機関と連携し、実習や子育て体験などを行います。
- ・保育・幼児教育系大学や専門機関等の外部講師による出前講座や特別講座を実施し、造形表現や音楽表現などの保育技術を学習します。

## 2 職業系専門学科・コース

### (1) ものづくりコースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
姉崎	32年度 (2020年度)	普通科	・ものづくりコースを設置

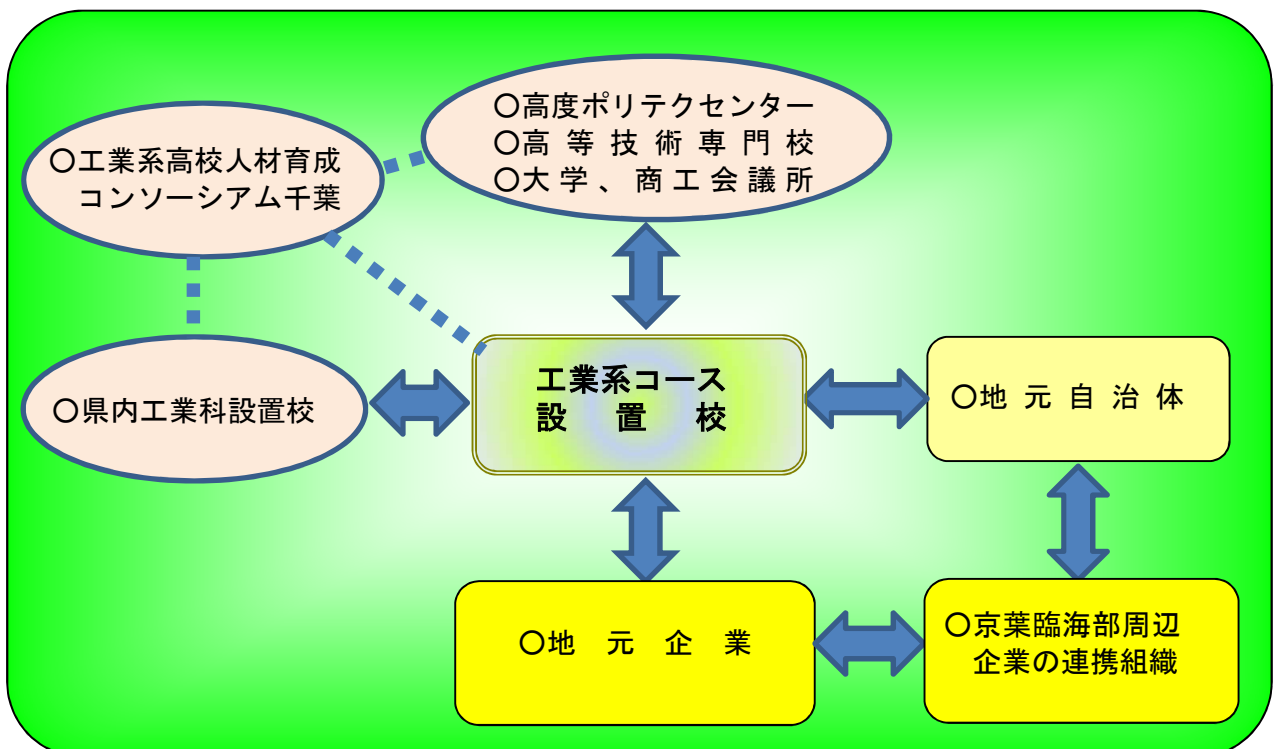
#### 【再編の内容】

- ・様々な教育資源を活用しながら、将来、ものづくり企業への就職を目指すための知識・技術、実践力、創造力を備えた人材を育成するため、姉崎高校にもものづくりコースを設置します。

#### 【教育内容等】

- ・1学年では、生徒の将来展望を持ったコース選択に資するための「産業社会と人間」や、ものづくりに関する基礎的な科目を学びます。
- ・地元自治体や関係機関の協力を得ながら、連携企業における実習を重視したカリキュラムを通して、具体的な業務内容を学ぶとともに、ものづくりを担う人材としての基礎的素養を高め、そのスキルを身に付けます。

### コース設置校を支援する体制（イメージ）



## (2) 工業基礎コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
天 羽	3 2年度 (2020 年度)	普 通 科	・工業基礎コースを設置

### 【再編の内容】

- ・工業に興味・関心を持ち、将来、工業系の企業への就職を視野に入れた生徒が、基礎的な資質能力を身に付けるとともに、職業意識を育むため、天羽高校に工業基礎コースを設置します。

### 【教育内容等】

- ・1 学年では、工業系の企業に就職を希望する生徒が早くから準備に取り組むことができるようにするため、総合的な学習の時間等において、地元企業等について理解を深めます。
- ・地元自治体や関係機関、地元企業との連携によりインターンシップ等を実施し、職業観・勤労観を養います。
- ・就職してから役立つ資格の取得を目指します。

### (3) 福祉コースの設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
犢 橋	32年度 (2020年度)	普通科	・福祉コースを設置

#### 【再編の内容】

- ・地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、地域バランス等を考慮し、犢橋高校に福祉コースを設置します。

#### 【教育内容等】

- ・主として、高齢者の介護に必要な専門知識や技術を習得するとともに、介護従事者としての心構えや配慮、マナーを学習し、将来福祉分野で活躍できる人材を育成します。
- ・近隣に位置する福祉施設や、福祉系大学及び学部と積極的に連携し、充実した福祉教育の展開を図ります。
- ・介護従事者等の人材育成及び職業教育の一層の充実を図る観点から、福祉に関する資格取得を目指します。
- ・既に福祉教育に取り組んでいる学校の実践等で得られた成果を共有し、教育内容の一層の充実を図ります。



## Ⅱ 県立学校の適正規模・適正配置

### 全日制高校

県教育委員会では、これまで、策定した第1次から第3次までの実施プログラム及び適正規模・適正配置の観点を踏まえつつ、地域における学校の在り方について御意見をいただきながら検討を進め、以下の全日制高校の統合を行うこととしました。

#### 1 全日制高校の配置（統合）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
君 津 上 総	君 津	33年度 (2021年度)	普通科 園芸科	・上総高校は実習場として使用 ・校名については今後検討

#### 【これまでの経緯】

- ・君津地区は、適正規模の下限である1学年4学級規模以下の学校が県立高校8校のうち4校存在し、そのうちの2校については1学年3学級規模となっています。同地区は引き続き生徒数の減少が見込まれるなど、喫緊の課題を抱えています。
- ・平成25年度に、地域協議会を開催して地域関係者から様々な御意見を伺うとともに、平成29年度には、前述のとおり、地域における学校の在り方について御意見をいただきながら、検討を進めてきました。

#### 【再編の内容】

- ・君津高校と上総高校を統合し、使用校舎を君津高校とします。
- ・統合校には、両校の学びを継承して普通科及び園芸科を設置します。
- ・農業分野の学習のため、上総高校は継続して使用することとし、生徒の移動にはバスを使用します。
- ・地域との連携を積極的に推進し、地域の教育力を活用するとともに、引き続き信頼され、必要とされる学校づくりを進めます。

#### 【統合校の目指す姿】

- ・普通科では、生徒の興味や適性に応じて能力の伸張を図り、進路実現を目指します。
- ・園芸科では、幅広く園芸を学ぶとともに、基礎学力の定着に向けた取組や進学に対応したきめ細かな学習指導を行います。

### 【生浜高校全日制課程の今後の在り方について】

現在、生浜高校は、全日制の課程と三部制定時制の課程を併置している県内唯一の学校であり、4つの課程の教育活動を同時展開することから、それぞれの課程における指導の在り方の課題や、行事の実施や施設の利用について一定の制約が生じています。また、定時制課程との併置であることから、全日制課程の募集学級数を2学級とせざるを得ず、活力ある教育活動を展開する上で支障が生じています。

これらのことから、志願者数の動向や学区内の中学校卒業生数の推移も注視しながら、生浜高校全日制課程の今後の在り方について、検討してまいります。

## 定時制高校・通信制高校

定時制高校は、働きながら学ぶ勤労青年の数が減少する一方、全日制高校からの転・編入学者（中途退学者）、中学校までの不登校経験者等の全日制高校の教育に適応しづらい者、過去に高校教育を受けることができなかつた者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増えています。また、これに伴い、卒業後の進路についても広がりを見せています。このように生徒の多様なニーズに応えるため、一層の指導上の工夫を図りつつ、教育環境を整える必要があります。

本プログラムにおいては、こうした現状を踏まえ、プランに基づき設置学科の在り方やニーズの高い多部制定時制高校の設置等について検討を行い、定時制高校の充実を図るための具体的な内容を盛り込みました。また、通信制高校で学ぶ生徒の利便性を向上させるため、通信制協力校を設置しました。

また、再編の実施に際し、三部制定時制高校を「三部制チャレンジスクール（仮称）」、これ以外の夜間定時制高校を「ステップスクール（仮称）」として充実を図るとともに、これらの高校を必要とする生徒への周知を図ってまいります。

### 1 定時制高校の配置（統合・学科改編）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備考
船橋 行徳	船橋	34年度 (2022年度)	総合学科	・定時制課程を統合 ・普通科を改編し総合学科を設置 ・行徳高校定時制課程は、募集を停止

#### 【これまでの経緯】

- ・第3次実施プログラムを踏まえ、学校の状況の把握に努めるとともに、定時制課程の在り方について御意見等をいただきながら、検討を進めてきました。

#### 【再編の内容】

- ・船橋高校定時制課程と行徳高校定時制課程を統合し、使用校舎は船橋高校とします。
- ・船橋高校定時制課程の設置学科を普通科から総合学科に改編します。

#### 【統合校の目指す姿】

- ・生徒の多様なニーズに応じた選択科目を設けるとともに、進路希望や興味・関心に応じた系列を設置します。具体的な系列については、設置校の職員等で構成する準備室会議で検討します。
- ・「産業社会と人間」や総合的な学習の時間等を活用しながらキャリア教育を進め、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、自己肯定感と社会参加への意欲を高めます。

## 2 定時制高校の配置（学科の再構成）

### （1）工業に関する学科の再構成

対象高校	実施年度	備 考
千葉工業	32年度 (2020年度)	・機械科、電気科を工業科に再構成
市川工業	32年度 (2020年度)	・機械電気科、建築科を工業科に再構成

#### 【再編の内容】

- ・生徒の多様な興味・関心、能力・適性等に対応し、卒業後の進路を見据えた学びが選択できるよう、職業系専門学科の在り方を見直し、千葉工業高校定時制課程の機械科、電気科を工業科に、市川工業高校定時制課程の機械電気科、建築科を工業科に再構成します。

#### 【教育内容等】

- ・1年次では、工業科の基礎の定着を図りつつ、生徒が適性を見極められるよう、きめ細かな指導を行います。2年次から、生徒が進路希望や興味・関心に応じて選択する機械・電気・建築などの専門分野のコースを設置します。
- ・普通教科において、学び直しを行うなど基礎学力の定着を図るとともに、卒業後も学び続ける意欲や社会性を高めます。

## (2) 商業に関する学科の再構成

対象高校	実施年度	備 考
木更津東	32年度 (2020年度)	・普通科に <b>商業に関するコース</b> を設置 ・商業科は、募集を停止

### 【再編の内容】

- ・生徒の多様な興味・関心、能力・適性等に対応し、卒業後の進路を見据えながらニーズにあった学びが選択できるよう、**木更津東高校定時制課程に商業に関するコース**を設置します。
- ・木更津東高校定時制課程の商業科は、平成32年度（2020年度）入試から募集を停止します。

### 【教育内容等】

- ・1年次では、学び直しを行うなど基礎学力の定着を図りつつ、きめ細かなキャリア教育を行います。2年次から、進路希望や興味・関心に応じて選択する**商業に関するコース**を設置します。
- ・商業に関するコースでは、学びを生かし様々な資格取得を目指します。

### 3 定時制高校の配置（三部制定時制高校の設置）

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
佐倉南	34年度 (2022年度)	普通科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三部制定時制高校の設置</li> <li>・佐倉南高校全日制課程は、募集を停止</li> <li>・佐倉東高校定時制課程は、募集を停止</li> <li>・佐倉東高校定時制課程の在校生転入</li> </ul>

#### 【再編の内容】

- ・生徒の多様なライフスタイルや興味・関心、能力・適性等に対応し、生徒のニーズにあった学びが実現できるよう、佐倉南高校に三部制定時制高校を設置します。

#### 【教育内容等】

- ・多様な学びのニーズに対応するため、午前部、午後部、夜間部で構成し、学期は、前期・後期ごとに単位認定を行う2学期制を実施します。
- ・就業支援体制や教育相談体制の充実を図り、きめ細かな指導を行います。
- ・修業年限は4年を基本としますが、他部の科目履修などにより、3年で卒業することも可能です。
- ・単位認定については、過去に在籍した高校で修得した単位を卒業に必要な単位として認定するなど、柔軟な単位認定を行います。

#### 《参 考》三部制定時制高校のイメージ

	午 前	午 後	夜 間
午前部	← 主な学習時間帯 →	← 他部履修 →	
午後部	← 他部履修 →	← 主な学習時間帯 →	← 他部履修 →
夜間部		← 他部履修 →	← 主な学習時間帯 →

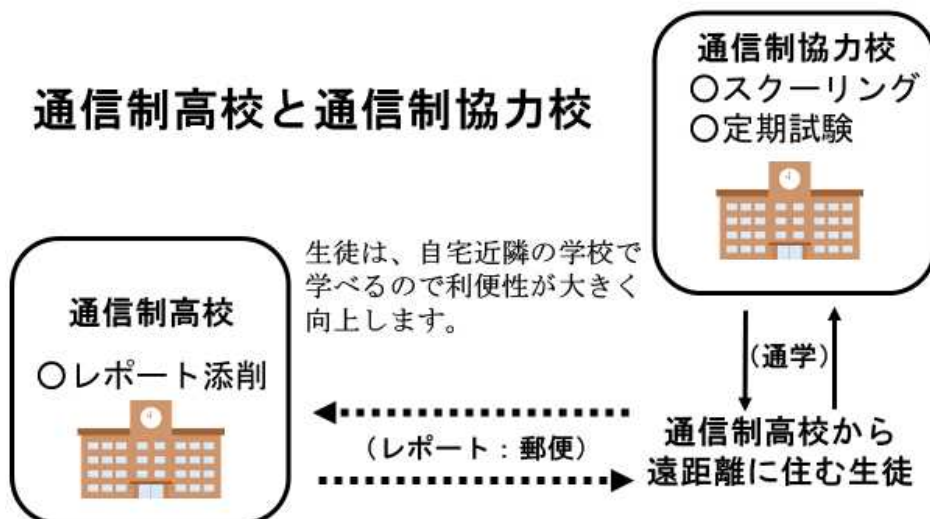
## 4 通信制高校の配置（通信制協力校）

### 【通信制協力校とは】

- ・通信制高校は、面接指導（スクーリング）の出席、添削課題（レポート）の提出、定期試験の受験の3本の柱で学習を進める学校です。
- ・通信制高校で学ぶ生徒の学習の利便を図るため通信制協力校の制度があります。この制度は、通信制高校から遠距離にある高校を**通信制協力校**に指定し、生徒がそこでスクーリングや定期試験を受けられるものです。
- ・県内で唯一の公立通信制高校である千葉大宮高校へは、県内全域から生徒がスクーリングの出席や定期試験の受験のために通学しています。通信制協力校は、千葉大宮高校から遠距離に居住している生徒にとって、通学時間や交通費の面で負担軽減につながる有益な制度です。

### 【現状と今後の予定】

- ・従来、館山総合高校と銚子商業高校において、千葉大宮高校の定期試験を実施してきました。県教育委員会は、千葉大宮高校で学ぶ生徒の学習環境をより一層向上させるため、館山総合高校において、平成29年度から新たにスクーリングを実施しています。
- ・初年度は、希望する1年次生を対象として開始しましたが、平成30年度以降、年度進行で対象の年次を広げ、平成32年度（2020年度）には1年次生から4年次生までがそろいます。
- ・また、スクーリングでは、デジタル教材を活用するなど、生徒の学習上の利便性向上に努めます。
- ・県教育委員会では、引き続き、通信制協力校の拡充を検討していきます。



### Ⅲ 県立学校改革推進プランの進捗状況

#### 1 魅力ある県立学校づくりの推進

形態等	具体計画の方向	実施計画の内容	第1次	第2次	第3次	第4次	計
普通科	社会のニーズに対応した コースの設置	教員基礎コースの 設置	2校	—	2校	—	4校
		医療系コースの 設置	2校	—	—	1校	3校
		保育基礎コースの 設置	—	—	1校	1校	2校
	教育課程や教育内容、 指導方法の工夫・改善	グローバル化に 関する学びの導入	—	—	1校	—	1校
英語科 ・ 国際科	英語科の学科改編	国際に関するコース の設置	1校	—	1校	—	2校
	国際科で真の国際人の 育成	グローバルスクールの 設置	—	1校	—	—	1校
理数科	2校程度に設置	理数に関する学科の 設置	1校	1校	—	—	2校
農業科	農業教育の拠点校設置	拠点校の設置	1校	—	—	—	1校
	わかりやすい学科名への 変更を含めた学科再構成	学科再構成	—	—	8校	—	8校
工業科	工業教育の拠点校設置	拠点校の設置	1校	—	—	—	1校
	関係機関等との連携を 推進する組織を設置	コンソーシアムの 設置	1校	—	—	—	1校
	進学を視野に入れた教育	理数工学科の設置	1校	—	—	—	1校
	わかりやすい学科名への 変更を含めた学科再構成	学科再構成	—	—	1校	—	1校
	工業に関するコースの 設置	ものづくりコースの 設置	—	—	—	1校	1校
工業基礎コースの 設置		—	—	—	1校	1校	
商業科	わかりやすい学科名への 変更を含めた学科再構成	学科再構成	—	—	5校	—	5校



形態等	具体計画の方向	実施計画の内容	第1次	第2次	第3次	第4次	計
福祉科	福祉教育の拠点校設置	拠点校の設置	1校	—	—	—	1校
	系列・コースを各学区に設置	福祉コースの設置	3校	1校	1校	1校	6校
総合学科	普通科の転換により3～5校程度設置	総合学科の設置	—	1校	1校	—	2校
単位制高校	進学指導重点校など2校程度に導入	単位制の導入	1校	—	1校	—	2校
中高一貫教育校	併設型・中等教育学校を2校程度設置	併設型中高一貫校の設置	1校	—	—	—	1校
観光・環境・防災等	観光について学べる系列やコース、科目等設置	観光の学びの導入	1校	—	—	—	1校
		観光に関するコースの設置	—	1校	—	—	1校
	環境について学べる系列やコース、科目等設置	環境に関するコースの設置	2校	—	—	—	2校
		防災について学べる科目等設置	1校	—	1校	—	2校
地域連携 アティバースクール	4校程度に設置	地域連携アクティブスクールの設置	2校	2校	—	—	4校

## 2 県立学校の適正規模・適正配置

形態等	具体計画の方向	実施計画の内容	第1次	第2次	第3次	第4次	計
全日制高校	適正規模の観点から、5～6組程度の統合見込み	統合	1組 3校	—	1組 2校	1組 2校	3組 7校
定時制高校	配置の適正化	定時制課程の統合	—	—	—	1組 2校	1組 2校
	設置学科を含め在り方について検討	総合学科の設置	—	—	—	1校	1校
		学科の再構成	—	—	—	3校	3校
	多部制定時制高校の新たな設置について検討	三部制定時制高校の設置	—	—	—	1校	1校
通信制高校	教育内容の一層の充実	通信制協力校の設置	—	—	—	1校	1校

## IV 今後の魅力ある高等学校づくりに向けて

「県立学校改革推進プラン」に基づく具体計画は、この「第4次実施プログラム」が最終プログラムとなりますが、本プログラム決定後も、引き続き、普通科については一層の特色づくりを推進するとともに、専門学科・総合学科については、専門の学びを生かした教育の充実や活性化を推進し、魅力ある高等学校づくりを推進してまいります。

なお、今後告示される高等学校学習指導要領の改訂や、全体像が明らかになりつつある高大接続改革の進捗状況なども見据えながら、社会の変化を踏まえ、以下のような観点に留意しつつ、平成33年度（2021年度）までの状況の変化によっては、一部プログラムの追加・修正を検討してまいります。

○ 社会のグローバル化や経済構造が急激に変化し、情報分野や交通分野における技術革新により生活圏が広がる中、コミュニケーション能力や問題解決力などの素養を身に付けた、世界を舞台に活躍できる国際人を育成していくことが更に求められています。

また、更なるグローバル化の進展も見据えつつ、大学進学後に留学する生徒の数も増えています。本県においては、グローバルスクール設置校を中心として、高校卒業後に海外の大学への留学を目指すことをより一層後押しするような、グローバル化に対応する教育の充実を図るとともに、県教育委員会においてその状況も踏まえながら、国際バカロレア教育についての調査研究に取り組んでまいります。

○ 全日制高校、定時制高校の配置については、中学校卒業生数の推移や配置バランス、生徒の志願状況など、地域ごとに様々な課題があることから、生徒・保護者のニーズや地域の方々の御意見等を踏まえながら、統合の実施を含めて引き続き検討してまいります。その際、公立高校と私立高校が協調し、切磋琢磨しながら、高校教育の更なる充実に努める観点も十分踏まえてまいります。

○ 第1次から第4次までの実施プログラムに具体的な計画が記されていない学校も含め、全ての県立高等学校において、「県立学校改革推進プラン」に基づく魅力ある高等学校づくりを進めていかななくてはなりません。社会状況の大きな変化が見込まれている中、その要請はますます強くなっています。県教育委員会として、各高等学校に対して改めてこの趣旨の十分な周知を図るとともに、先進的かつ優れた取組についての支援・共有化・情報発信を更に推し進めてまいります。

**県立学校改革推進プラン**  
**第4次実施プログラム**

平成30年3月

編集・発行／千葉県教育委員会  
(企画管理部県立学校改革推進課)  
〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1  
電話 043-223-4026



千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」